

議会だより

166

H29.11.1

三芳町

- 平成28年度一般会計・特別会計・決算認定 … P 2
- 一般質問(13人が町政を問う) … P 12
- 特別企画 敬老の日 金婚夫婦インタビュー … P 22

10月8日
第56回「町民体育祭」選手宣誓
写真の紹介が19ページにあります。

議会だより発行月 2月 5月 8月 11月

次の発行は2月1日の予定です。

認定しました

平成29年
第5回 定例会
(8月28日～9月15日)

一般会計歳入

年度当初予算額 **119億 68万9000円**
算額 **12億2767万0000円**
源充当額 **9億8142万5000円**

年度決算額 **141億 978万4000円**
143億4611万2000円

ここで一言

「歳入」ではなぜ当初予算額と補正予算額を足しても決算額より少ないのか？と思われるかもしれませんが、景気動向などによる町税の増収が要因の一つになります。

「歳出」では前年度に完了できなかった事業を当該年度に行う「繰越明許費」や、予算の効率的な執行や経費の節約、契約差金による「不用額」が発生することによって、決算額との差が生じることとなります。

補正予算とは？

本来であれば町が立てた年度当初の予算通りに財源を支出するのが自治体の理想ですが、例えば

- ・突発的な災害
- ・人事異動や退職による人件費の増減
- ・経済情勢の変化や国や県からの補助金の変更

等の事由によって、当初予算通りの執行が困難になった時に、当初予算の内容を変更できるように組まれる予算です。

議会の承認を受けて成立します。

三芳町では平成28年度「三芳中学校校庭工作物移設工事」や「地方創生加速化交付金を利用した農業センターを拠点とする地域活性化事業」「ふるさと納税寄付金の増額」「国民健康保険特別会計への繰出金」などで計8回の一般会計補正予算案が上程され、すべて可決承認されています。

平成29年第5回定例会が19日間の会期に渡り開催されました。
この定例会では町長提出の報告3件、議案9件、同意2件、認定6件があり、議案1件については修正の発議が提出されましたが、すべて原案通り「可決」「同意」「認定」されました。

また、議員提出の意見書5本のうち4件を「可決」、1件を「否決」しました。
一般質問では13人の議員が行いました。8月31日には夜間議会も開催され、大勢の傍聴者にお越しいただきました。

平成 29 年第 5 回定例会

平成28年度の決算を

一般会計歳出

平成28年度当初予算額 **119億 68万9000円**

補正予算額 **12億2767万0000円**

繰越事業費繰越額 **9億8142万5000円**

計 **141億 978万4000円**

平成28年度決算額 **135億1256万5000円**

平成28

補正予

繰越財

計

平成28

歳入歳出の差引額 **8億3354万7000円**

反 討 対 論

日本共産党

ふれあいセンターの新規事業や富士塚第1公園築造工事等評価できるが、高齢者地域福祉バス利用助成事業の廃止、介護保険利用者負担助成事業の縮小など問題。スマートICに関わる費用は一極集中に思える。扶助費の削減は止め、子どもの貧困対策、町民のための福祉の充実を求める。

賛 討 成 論

公明党

財政状況の厳しい中、地方創生加速化交付金に伴う農業センターの整備事業や観光促進、緑のトラスト保全、公園築造工事、広域ごみ処理建設事業、スマートIC関連測量、道路改良工事等住民ニーズに応え評価する。更に行政改革に努め、防災対策や交通安全対策に努めるよう要望する。

主な意見・質疑

主な質疑

平成28年度決算を決算特別委員会で3日間にわたり審査しました。審査の経過を踏まえ次のような意見と質疑が各委員からありました。

◆歳入◆

問 滞納繰越分の収納率が30%以上というところで町民税の個人町民税は48・18%となっているが平成28年度の差し押さえ件数は何件だったのか。

答 国民健康保険税を含めた件数は372件である。

問 預金、不動産、生命保険の差し押さえ件数はそれぞれ何件だったのか。

答 預金の差し押さえ件数は242件、不動産が1件、生命保険は44件であった。

問 ふるさと納税で2927人の方が当町に寄付してくれたが、他の自治体に寄付した方は何人いるのか。

答 寄付人数は344人、寄付額は約2900万円、控除される住民税は約1250万円となっている。

問 町税の収入済額が77億3800万あまりだが、予算額との差が7億円ある。担当課ではどう捉えているか。

答 法人町民税、固定資産税の償却資産が予想していたよりも景気が良かったと考えている。

問 ふるさと納税寄付金が1億3455万1000円計上されているが、ふるさと納税をした方の県内、県外の人数は。

答 全体の件数が3119件のうち県内の方が227件であった。

問 緑化推進費寄付金85万5000円だが、どのような方の寄付が多かったか。

答 寄付件数38件、内訳は個人が4件、法人企業が34件あった。



◆歳出◆

総務費

問 行政改革関係の謝礼が計上されているが、継続6事業、内容見直し3事業と記述がある。その内容は。

答 外国人生活支援事業、男女共同参画社会促進事業、狂犬病予防促進事業、畜産支援事業、一般下水道整備事業、緑化推進事業の以上が継続事業となる。

問 シティプロモーション協議会に対する負担金15万円が毎年計上されているが、効果はどのように表れているのか。

答 すぐに効果が表れるというものではないが、他の自治体独自で行っているものを視察に行ったり、研修をしたりしている。

問 三芳スマートIC関連測量、設計等委託料で1824万2284円計上されているが、測量は何

か所実施されたのか。

答 道路測量業務委託は上富69号線になる。用地測量物件調査積算業務委託は三芳中学校交差点、多福寺交差点、セントラル病院交差点、JAいるまの共販センター前交差点、上富243号線付け替え258号線、幹線14号線において用地測量及び物件調査を実施。NEXCO路線測量業務委託についてはスマートICの上り線、下り線の測量を行っている。

問 ジモ得クーポンの印刷代として3万300円が計上されているが使用された状況は。

答 246枚が使用されている。

問 行政連絡区の運営費が補助金という形で渡っているが、平成27年度と比べて24万円ほど下がっている。行政区全体の加入者はどれくらい減ったのか。

答 行政区の加入率では平成28年4月1日で62・5%で0.3ポイントの減となっている。

問 デマンド交通運行支

援業務委託料だが差が出た要因は。

答 運賃収入が見込みより多かったことが要因だと思っっている。

問 防災ガイドマップ作成業務委託料14万9580円が計上されている。5か国語ということだが、どのように周知しているのか。

答 NPO法人と相談し、英語、韓国語、中国語、タガログ語、ポルトガル語の5か国語で作成した。東入間圏内では有効な言語であるとセレクトした。NPO法人、日本語教室、町内公施設の窓口、HPなどに掲載して周知するようお願いしている。



一般会計決算の

民生費

問 ふれあいセンター管理運営委託料1750万円だが、建物を借りる分も含めての金額か。

答 建物の使用する分も含めての金額である。

問 講演会講師謝礼70万2500円だが、平成28年度行われた事業は。

答 平成28年度に行われた精神保健福祉事業は、心のセミナーでは年2回ではあるが、「歌で心の健康づくり」が藤久保公民館で行われ、歌声喫茶のようなピアノの生演奏で利用者の方が参加。1回目124人、2回目が138人と毎回開催することに増えている。他には障害児で医療的ケアが必要な方への栄養講座、うつ予防の講座が心のセミナーとしてある。統合失調症の家族教室精神科の先生にお願いして実施。

問 シルバー人材センターの補助金686万8032円が計上されているが、2市1町での受け取り市町補助金として

2700万円計上しており、計算書と金額が違っているがその理由は。

答 シルバー人材センターの補助金だが、2市1町で総額で支払い、按分で算出している。当町の負担分が686万8032円である。

問 障がい者就労支援センター運営事業委託料918万2000円だが、利用者の人数は。

答 平成28年度の登録者は88人。その中で就職した方は55人いた。88人の登録者に対し、2544件の相談を行い事業を進めた。

問 就労の相談のほかに何か相談はあったか。

答 就労準備支援、求職支援、職場支援、集中支援、定着支援を実施。職場の方が、困ったことがあれば駆けつけて対応するといった支援を行っている。

問 みどり学園費の給料だが、当初予算では4人だった一般職給が3人となっているがなぜか。

答 園長が第3保育所長との兼務であった。園長

と指導員2名の計3名で計上している。

衛生費

問 健康長寿プロジェクトの成果はどうか。

答 参加者の医療費の検証をしたら男性が月5000円、女性が2000円の差が開いた。

問 高齢者肺炎球菌予防接種の今後の動向は。

答 平成30年で5年ごとの特例が終わり今後は対象が65歳のみになる。

問 狂犬病予防接種の対象件数は。

答 生後3か月以上が対象で1740頭が登録。

問 一般廃棄物収集運搬業務委託と動物死体処理業務委託が予算では別々なのが一緒に計上された理由は。

答 2業者に委託し運搬は一緒のため。

農林水産業費

問 産業祭の補助金が減額した要因は。

答 会場をグラウンドからコピスに移動し農作物展示のテント代が無くなった。

問 畑作土壌改良補助金の対象者は何人か。

答 農家組合員の206人。

商工費

問 観光促進事業は都内の業者に委託した理由は。

答 総務省や他の自治体の実績を見て判断した。

問 地域プロモーション事業で観光のPRチラシの活用方法は。

答 駅や町内飲食店等に配布している。

土木費

問 三芳PA魅力発信イベント謝礼の活用は。

答 スマートIC下り線では三芳町のPRやふるさと納税のPRを発信するためアンケート調査をした。

問 道路維持修繕の工夫は。

答 部分的より全体に修繕した方が長持ちする。財政上厳しいが工夫していく。

問 三芳スマートIC関連測量、設計委託で地権者の用地交渉の状況は。

答 7軒中6軒の契約が

あり1軒が今も交渉中。

問 植木等管理業務委託はどの場所か。

答 公園の枝の伐採や剪定で低木はシルバー人材センターに高木は業者に委託。

教育費

問 部活動ボランティア指導員の周知は。

答 中学校ごとに保護者や地域の方をお願いしている。

問 スズメバチ駆除業務委託料はどこで発見され駆除したのか。

答 唐沢小学校で1か所。竹間沢小学校で2か所。

問 郷土芸能の体験教室に参加した人が後継者となるようアプローチの努力は。

答 みよしまつりのお囃子に参加するよう啓発している。



平成 28 年度
特別会計
歳入歳出決算

*特別会計とは

一般会計は町の様々な事業に対応した大きなお財布であるのに対し、特別会計は個別の事業の状況や資金運営を明確化するために別々に小さなお財布を設けたものです。

国民健康保険

歳入総額

49億4007万660円
国から
8億8661万3783円
県から
3億3166万8364円
町の一般会計から
4億5500万円

歳出総額

48億5565万6267円
保険給付費
28億1197万2474円
(主に診療を受けたこと
に対して医療機関に支払
われる費用)
後期高齢者支援金
5億7560万8548円
(現役世代から後期高齢
者医療制度への支援)
差引残額
8441万4393円

反 討
対 論

日本共産党

平成 28 年度、国民健康保険税の値上げによって、住民への負担額は 1 億 1500 万円となった。国負担割合は 20% と低い。その他一般会計の繰入金が増額で対応すべきだが、逆に削減し、住民負担増とした。今後は住民負担増とするのではなく、扶助費の増額と社会保障の拡充をすべきだ。

国民健康保険加入者数

年度	加入者数(人)
26	1万1194
27	1万793
28	1万34

(年度末現在の人数)

特定健診の対象人数、受信者数、受診率及び給付実績

年度	対象人数(人)	受信者数(人)	受診率(%)	給付額
26	8091	3570	44.12	3490万6990円
27	8105	3506	43.26	3460万4898円
28	7819	3142	40.18	3199万6530円

加入者数が減っている要因は、加入者が後期高齢者（75歳以上）に年々移行しているため。

要支援・要介護認定者数

年度	要支援	要介護	合計
26	297(6)	868(35)	1165(41)
27	328(8)	925(29)	1253(37)
28	311(10)	991(25)	1302(35)

人数は年度末現在の数字

()内は第2号保険者(40歳以上65歳未満)の人数

介護保険

歳入総額

21億2435万2894円
国から
3億6713万6839円
県から
2億8839万5757円
町の一般会計から
2億9339万2990円
差引残額
20億1910万977円
保険給付費
18億5853万6554円
(利用した介護サービスにつ
いて事業者が支払われる費用)
基金への積立金
6745万91円

後期高齢者医療

歳入総額

4億1274万5225円
特別徴収保険料(年金か
らの天引き)
1億8437万8710円
普通徴収保険料(納付書
での払い込み)
1億5646万7910円
歳出総額
4億26万8692円
広域連合納付金
3億9443万4000円
(後期高齢者医療制度の運
営は広域連合が担い、財
源は公費負担が5割(国・
都道府県・市町村、各4割
1.1)、健保、国保など(0
歳〜74歳)から4割、後
期高齢者の保険料が1割
となっている)

差引残額

1247万6533円



下水道事業

歳入総額

9億149万9832円

下水道使用料

5億7568万6279円

町の一般会計からの繰入金

1億7000万円

歳出総額

8億1596万9189円

下水道整備基金積立金

5300万7000円

ポンプ場耐震補強等設計委託料

1177万2000円

荒川右岸流域下水道維持管理

1億9581万5104円

差引残額

8553万643円



反討 対論

日本共産党

一般会計からの繰入金は、平成28年度は5500万円減の1億7000万円となり、下水道整備基金残高は、平成28年度は4000万円増の1億8000万円となっている。一方で平成27年10月に行われた料金改定により、平成27年度比4100万円の住民負担増となった決算であり認められない。



平成28年度 水道事業会計 決算

企業会計

独立採算の公営企業です

給水にかかわる会計

収益的収入

9億1204万151円

営業収益

8億4690万3347円

収益的支出

8億481万863円

営業費用

7億5742万546円

水道管や設備などの 資産管理にかかわる会計

資本的収入

2億7175万8000円

企業債(借金)

2億4600万円

資本的支出

4億1228万6036円

建設改良費

3億196万4444円

中央監視設備更新工事

7820万円

その他水道管敷設工事など

企業債償還金(借金返済)

1億1032万1592円



三芳町の給水塔



報 告

報告第4号

平成28年度三芳町健全化判断比率の報告について

財政健全化比率の報告とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により議会への報告及び公表が義務付けられているものです。町の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものであり、次の4つの指標からなっています。



① 実質赤字比率

地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

② 連結実質赤字比率

公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

③ 実質公債費比率

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

④ 将来負担比率

地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

町の健全化比率…三芳町は早期健全化基準を下回っているので健全です。

単位：%

項目	内容	平成28年度	早期健全化基準
実質赤字比率	自治体の一般会計の赤字程度	—	13.73
連結実質赤字比率	公営企業も含めた赤字の程度	—	18.73
実質公債費比率	実質的な借金の返済額の割合	8.7	25.00
将来負担比率	将来支払うことになる負担	136.3	350.00

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は赤字でないため算定されません。

条 例

議案第41号

三芳町保健センター条例の一部を改正する条例

乳幼児から高齢者までの健康維持、健康増進への更なる住民サービスの向上を図るため、本条例を改正するもの。

三芳町保健センターを三芳町役場2階に移設するもの。

議案第42号

入間東部地区消防組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

入間東部地区消防組合で共同処理する事務にし尿及び浄化槽汚泥の収集、運搬及び処理に関する事務並びに火葬場及び斎場の設置及び管理に関する事務を加え、同組合規約を変更することについて提案するもの。

議案第43号

入間東部地区衛生組合の規約の変更について

入間東部地区衛生組合が解散した場合において、同組合の事務及び財産を入間東部地区消防組合に継承させるため、同組合規約を変更することについて提案するもの。

議案42号及び議案43号は、入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合を統合し、人件費及び効率化を図る条例。

同意しました

任期満了に伴う委員の任命・選任について、議事に同意を求められましたので、適任と認め同意しました。

三芳町教育委員会委員

細谷雄司氏

三芳町固定資産評価審査委員会委員

船津輝佳氏

一般会計補正予算(第3号)

2億616万4000円を追加し、
予算総額124億8561万6000円とするもの。

国民保護事業

昭和20年3月頃にアメリカ軍による空爆があり、上富第3区地内の畑に不発弾と思われる埋設物があるとの証言により、同場所を探查するもの。

埋設物等探查業務委託料	969万8400円
職員手当等	33万7000円

探查の結果、不発弾が発見された場合
埋設物等掘削、保護擁壁築造及び埋戻工事
1505万9682円

問 爆撃は広範囲に行われたようだが、周辺地域住民への聞き取りは行ったか。

答 関係者3名の証言と航空写真、町史の記述などを根拠とした。

問 不発弾が発見されてからの対応マニュアルが策定されてる自治体もあるが、三芳町ではどうか。

答 三芳町では策定していない。年間に複数発見される自治体ではキチッとマニュアルを策定しており、それらマニュアルを取り寄せ、処理計画の策定を進めている。

橋梁長寿命化修繕事業

東草橋他2橋の桁下部分の修繕工事を当初予定していたNEXCOへの委託をやめ、町で施工することになったため。

工事請負費(維持補修)	7497万9000円
NEXCO受託事業負担金	△7497万9000円

問 なぜNEXCOから町の施工になったのか。

答 当初はNEXCOと協議を進めてきたが、6月初旬に協議の締結を前に急遽NEXCOより約3800万円の予算増額の話があり、締結には至らず、町発注の施工となった。

学力保障スクラム事業

小学校3・4年生を対象に学力向上を図るための方策を研究・実践し、その成果を普及するため、藤久保小学校をモデル校として取り組む県の委託事業。

臨時職員賃金	18万円
講師謝礼、問題集作成ソフト 研究図書費、消耗品ほか	26万円

問 この事業の狙いはなにか。

答 町内小中学生の学力状況は県の学力テストでは平均を超えているが、全国の学力テストでは平均を下回っている。基礎的な部分を早い段階から学力をつけるために行われる。

観光推進事業

日本農業遺産認定を契機に地域振興を図るもの。

ポスターフレーム、落ち葉堆肥農法シール作成など	90万円
落ち葉堆肥農法分析業務委託料	100万円
落ち葉堆肥農法紹介映像作成業務委託	60万円
懸垂幕作成業務委託料	4万円
看板作成業務委託料	91万円

問 日本農業遺産認定は近隣市とともに進めてきた。この地域振興も近隣市と連携しているか。

答 協議会として活動は行うが、落ち葉堆肥農法を実践している農家は三芳町が一番多い。三芳町として独自の取組みを展開していく。

図書の普及活動事業

県ふるさと創造資金啓発用絵本	72万円
----------------	------

好評をいただいているふるさと絵本「おいしくなあれ 富のいも」が不足してきているので啓発用、頒布用として増刷するもの。

質疑後
修正案
提出

鈴木淳議員他1名により予算の修正案が提出された。
修正案は「国民保護事業」予算計2509万6000円を削除するもの。

削除の理由は、事業そのものに反対ではないが、探查から撤去までのマニュアルがないこと、もっと広範囲に住民への聴き取り調査を行うべきとし、現段階では公金で行うには時期尚早であること。

採決の結果

修正案	賛成少数で否決
補正予算原案	賛成多数で可決

原案に対する賛成討論

山口正史議員

補正予算原案に賛成する。但し、不発弾の調査・掘削事業の費用を削除する修正案は、処理マニュアルが作成されていない等の理由で実施を見送るべきとの修正案発議者の説明だが、行政は住民の生命及び財産を守る事が最優先で、人命を守る事を最優先すべきとの観点から修正案に反対する。

一般会計補正予算(第4号)

橋梁長寿命化修繕事業における東草橋他2橋の修繕工事(予算額1億2856万4000円)において年度を越える工期が見込まれるため繰越明許の予算措置をするもの。

介護保険特別会計補正予算(第1号)

1億629万4000円を追加し、予算総額を26億2168万8000円とするもの。主に前年度の介護保険給付費の確定に伴い精算を行うもの。

下水道事業特別会計補正予算(第1号)

308万円を追加し、予算総額を8億2230万6000円とするもの。主に人事異動等に伴う人件費の増によるもの。

水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出の予定額を80万5000円減額し、8億3236万9000円とするもの。資本的支出の予定額を10万3000円減額し、4億1426万2000円とするもの。主に人事異動等に伴う人件費の減によるもの。

意見書

意見書第8号

小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

平成32年の小学校におけるプログラミング教育必須化に伴い、自治体では指導内容・地域間格差・教職員の多忙化等課題が懸念される。

外部人材の活用等の人的・財政的支援や全国共通の指導ができるよう指導概要を明確にすること等、円滑に導入ができるよう国に支援を求める。

(提出先)

内閣総理大臣
文部科学大臣・経済産業大臣

日本共産党

反討
対論

2020年、小学校で、新しい「読み」「書き」「表現」の形としてプログラミング教育が始まる。全日本教職員組合などは、子どもたちの発達段階を考慮せずに押し進めることになることと危惧している。今後、子どもたちの基礎学力が弱まり、できない子が増えてしまう恐れがあり反対する。

意見書第9号

食品衛生管理の国際標準化を求める意見書

食品の衛生管理は、先進国を中心にHACCPが義務化されているが、日本では導入が遅れている。東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国内の食品の安全性の更なる向上のため、食品流通の多様化や国際化等を踏まえた食品管理制度の見直しを進め安全の確保を図ることを求める。

(提出先)

内閣総理大臣
厚生労働大臣

意見書第10号

受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

受動喫煙を防止するには、たばこの煙が深刻な健康被害を招くことを国民に啓発していくことが重要である。そこで、国民の健康を最優先に考え、受動喫煙防止対策の取組みを進めるための罰則付き規制を図る健康増進法の早急な改正を強く求める。

(提出先)

意見書第12号

保育士の処遇改善を求める意見書

大きな社会問題となっている待機児童の解消には、保育所の増設と共に保育士の処遇改善が求められている。保育士は子供たちの命を預かる仕事でありながら、低賃金、人手不足による業務過多などの状況に置かれている。保育士の確保、保育の質を維持するため早急な処遇改善を求める。

(提出先)

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
厚生労働大臣
財務大臣
内閣府特命担当大臣
(少子化対策)



衆議院議長
参議院議長
厚生労働大臣

審議結果と議員ごとの賛否内訳

■平成 29 年第 5 回定例会 審議結果

○賛成 ×反対

議案等 番号	議案等 名称	議員 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党						
			安澤 豊	井田 和宏	細田 三恵	細合 三男	菊地 造一	荻井 尚男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二	鈴木 淳
報 告 第 4 号	平成 28 年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ														
報 告 第 5 号	平成 28 年度三芳町下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
報 告 第 6 号	平成 28 年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ														
議 案 第 41 号	三芳町保健センター条例の一部を改正する条例	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 42 号	入間東部地区消防組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 43 号	入間東部地区衛生組合の規約の変更について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 44 号	入間東部地区衛生組合の解散及び同組合の解散に伴う財産処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 45 号	平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 3 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	×	×
動 議 第 1 号	議案第 45 号平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 3 号）に対する修正動議	否決	×	×	×	×	×	議 長	×	○	○	○	×	×	×	○	○
議 案 第 46 号	平成 29 年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 47 号	平成 29 年度三芳町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 48 号	平成 29 年度三芳町水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同 意 第 5 号	三芳町教育委員会委員の任命同意について	原案 同意	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同 意 第 6 号	三芳町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案 同意	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 49 号	平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 4 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 1 号	平成 28 年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
認 定 第 2 号	平成 28 年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
認 定 第 3 号	平成 28 年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 4 号	平成 28 年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
認 定 第 5 号	平成 28 年度三芳町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
認 定 第 6 号	平成 28 年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案 認定	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意 見 書 第 8 号	小学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
意 見 書 第 9 号	食品衛生管理の国際標準化を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意 見 書 第 10 号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意 見 書 第 11 号	核兵器禁止条約の参加、署名、批准を求める意見書について	否決	×	×	×	×	○	議 長	×	○	○	○	×	×	×	×	×
意 見 書 第 12 号	保育士の処遇改善を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○



公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ

農家の「収入保険制度」導入へ 農産物の市場価格下落にも対応

問 農家の安定経営を支える収入保険制度の概要は。

答 観光産業課長 これまでの共済等と違い農業経営全体を見据えた支援策で、本町農業者にとつてはメリットある制度だ。

問 青色申告を行い、経営管理を適切に行っている農業者が対象であることから、制度の概要と共に申告方式の周知も必要では。

答 観光産業課長 9月より農家組合を通し制度を周知する予定なので、申告方式も合わせて周知する。

潜在保育士への支援

問 本町在住の潜在保育士を町は把握しているか。

答 子育て支援課長 把握はできていない。

問 我が子が待機児童で働きたくても働けない保育士資格者の子供の優先入園制度の創設はどうか。

答 子育て支援課長 近隣自治体の事例を調査し、本町においても早急に対応できるよう具体的に研究する。

ペーパーレス会議推進

問 環境保護や業務の効率化、機密情報の漏洩防止の観点から、行政会議でタブ

レット端末導入はいかがか。

答 財務課長 視認性やセキュリティの問題があるが、個人情報等機密情報に接続しない方法での利用は可能だ。経費の面等を検討する。

雨水管の整備促進

問 豪雨被害の多発する所沢との境界道路の幹線21号線に雨水管敷設工事計画は。

答 上下水道課長 現在、町内の雨水全体計画策定に向け現況調査を実施している。計画の策定後、工事箇所の順位付けをし敷設工事を進めていくことになる。

その他の質問

幹線2号線の歩道部分整備及び歩道拡幅計画の策定について



三芳みらい
細谷三男
ほそ や みつ お

都市計画道路の早期完成に向けて努力を 地域ラジオ局の利活用で新たな情報発信

問 都市計画決定されている道路の内「竹間沢・大井・勝瀬通り線」の現時点での進捗率は。

答 都市計画課長 現在の進捗率は約42%である。

問 藤久保第3区集会所分室からふじみ野市境まで、都市計画決定された区域内に、建築物は何戸あるか。

答 都市計画課長 計画区域内の建築物は18戸である。

問 その建築物は、都市計画法第53条の許可を得て建築がされているのか。

答 都市計画課長 53条の許可を受けて建築している。

問 18戸の住宅の所有者には、都市計画道路への用地交渉等は行われていたのか。

答 都市計画課長 10年ほど前に所有者から相談はあったが、財政等の理由により、用地取得には至らなかった。今後土地所有者から相談があれば、その都度対応していきたい。

問 用地交渉の経過記録簿は保存されているのか。

答 都市計画課長 交渉日時、場所、交渉の相手方、町職員の氏名、交渉内容等を作成し、交渉時に持参した図面等併せ保管している。

問 用地交渉専門の担当課

を設置してはどうか。

答 道路交通課長 今後機構改革がある場合に提案をしたい。

地域ラジオ局の利活用について

問 町は、コミュニティFM局にどのような関わりをされているのか。

答 財務課長 公共性が高いので、役場屋上にアンテナを設置しているが、行政財産の使用から有料である。

問 新たな情報発信の場として、コミュニティFM局を活用してはどうか。

答 秘書広報室長 新鮮な情報を提供することで、既に連携の確認をしている。





三芳みらい
安澤 豊
あん ざわ ゆたか

住みよいまちづくり 進む国際化への対応は



問 小中学校に在籍している外国籍児童生徒の在籍状況及び言語別の人数は。

答 **学校教育課長** 外国籍児童生徒は小学校5名、中学校1名。言語別では、ウルドゥー語2名、中国語・スペイン語・英語・ビザヤ語各1名。

問 日本語指導が必要な児童生徒への支援体制は。

答 **学校教育課長** NPO法人と委託契約し、指導者を派遣している。日本語の理解度に合わせ個別での指導や、授業中は横に付いて指導を行っている。

問 日本語ボランティアの教材を揃えたらどうか。

答 **学校教育課長** 現在は、それぞれの学校で指導者と相談し教材を揃えている。情報収集し有効な教材があれば、予算要望したい。

問 住民票のある外国人の方は、何箇国で何人か。

答 **住民課長** 平成29年8月現在30箇国で697人。中国・ベトナム・フィリピン・韓国の順で多く全体の7割である。

問 厚労省では、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されるにあたり、言葉の壁をなくし交流

ができるよう多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」を活用した実証実験を行っている。当町でも各課窓口及び公共施設の受付にタブレットで「多言語音声翻訳システム」の導入を考えていくべきと思うが如何か。

答 **住民課長** ふじみ野国際交流センターを活用するなど、今後窓口で外国籍の方が困惑しないよう、適切な対応を心がけていく。「多言語音声翻訳システム」の導入については、費用対効果や他市町村の事例を参考にし、検討していきたい。

その他の質問

①無戸籍問題②民生委員制度③消防団の確立と強化について。



民生委員制度創設100周年応援マーク



三芳みらい
細田 三恵
ほそ だ みつ え

北朝鮮のミサイルに備えた避難計画について 防災士ネットワークの活用は有効！



問 現状が緊迫する中、ミサイルに備えた避難訓練、その後の見解は。

答 **自治安心課長** 国の動向に注視しながら、施設単位又は、小規模での避難訓練を推奨していきたい。

問 ミサイル対応の職員行動マニュアルの作成は。

答 **自治安心課長** 重要政策会議にて五分類の職員参集内部規定を作成した。

問 当町で防災士の把握をしているか。

答 **自治安心課長** 県内では368人の方が（取得者の7.5%）日本防災士協会に登録されているが、当町では14人の方が資格を持つていると聞いている。

問 防災士のネットワークを作っては。

答 **自治安心課長** 行政の方で官製のネットワークを作るのは難しいが、既存のネットワークを活用することとは有効と考え、今後さらに調査していく。

問 防災士の資格助成をしては。

答 **自治安心課長** 自主防災組織の補助金の対象経費とする事など町の現状から調査をする余地があると考ええる。

問 特例があり消防団の分団長以上の経験者の資格申請をしては。

答 **町長** 私も分団長を務めたので取得できる。多くの方が資格に関心を持って地域に居ることは地域の安全の為役立つ。皆さんに知って頂きしっかりとケアしていきたい。

三芳町いじめのないまちづくりについて

問 条例施行後何が変わったか。

答 **学校教育課長** 各学校のいじめ防止基本方針の改訂を行い、いじめ防止共通理解が進んでいる。

その他の質問

子供達の視力低下について



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「アラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

- ①速やかな避難行動
- ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



鈴木 淳
すずき じゅん

町の土地利用はビジョンを持って 交通安全対策は事故の発生する前に

問 過去の議会で「みどり共生産業ゾーンに立地可能な業種の拡大を検討」といった答弁があった。どんな業種を想定しているのか。

答 **総合調整幹** 都市計画法第34条第12号の区域指定での工業施設、商業施設を含め拡大を検討している。

問 所沢市と接する、幹線1号線沿いの容積率の緩和について県と協議を重ねているようだが、その進捗は。

答 **都市計画課長** 自然環境保全ゾーンに指定されているためハードルは高いが、企業留置のためにも協議を重ねて緩和を実現したい。

交通安全対策について

問 幹線19号線と川越街道の交差点は、西から来た自転車が大きくクランク状に進行するようになる。安全な通行ルートへの誘導策は。

答 **道路交通課長** 交差点には計3か所の横断歩道を設置する。自転車から降りて横断歩道内を通行していただく形を考えている。

問 登校中の児童が交差点での待機時、歩道一杯に広がり危険な時もある。学校からの指導も必要では。

答 **学校教育課長** 交差点



待機時は歩道の片側に待機する等の指導をするように学校側にも伝えていきたい。

日本農業遺産について

問 三芳町を中心とした「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が日本農業遺産に認定された。県内では他に近隣の2地域が農業遺産認定を目指している。いずれは三芳町が率先して3地域共同で観光などによる地域活性化に取り組んでいく、といった夢を持っているのか。

答 **町長** 全国的にも農業遺産への関心は高まってきている。武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会で検討していきたい。



公明党
小松 伸介
こまつ しんすけ

町民の意見を反映する町政運営を 防災対策を始めとする各施策について

問 平成28年実施の地中空洞化調査、その後の状況は。

答 **道路交通課長** 4箇所とも表層に損傷もなく良好な状態。経過観察していく。

問 全町的な定期調査は。

答 **道路交通課長** 交通量の多い所は検討したい。

問 防災頭巾の寄付を募り公共施設に配備しては。

答 **財務課長** 自宅の災害時備品と思いが確認したい。

問 江川の蓋かけ協議は。

答 **道路交通課長** 現地確認し富士見市と協議したい。

道路行政について

問 幹線14号線、五十和住宅周辺、幹線4号線の道路修繕・拡幅及び歩道設置は。

答 **道路交通課長** 劣化が激しい所は早急に修繕する。拡幅・歩道設置は予定無し。

問 幹線15号線の道路拡幅及び歩道設置の検討状況は。

答 **道路交通課長** 何らかの対策は要すると考える。交通量調査を実施したい。

問 唐沢小学校前マウントアップ歩道に防護柵設置は。

答 **道路交通課長** 構造上の問題で、設置する場合は歩道内設置となり歩道が狭くなる。安全を考え検討。

スズメバチについて

問 発生件数は。

答 **環境課長** 平成28年度65件程。平成29年度50件程。

問 公共施設以外で発生し、所有者が未対応の案件は。

答 **環境課長** 実際にある。

問 所有者未対応案件もあるなら予算措置すべきでは。

答 **環境課長** 安心安全を考え、近隣自治体を研究しながら財務課と協議していく。

車イス昇降機について

問 行事で車イスの方が壇上に上がる際に必要では。

答 **藤久保公民館長** レンタルの昇降機が移動式のスロープを活用するか、予算を含め検討していきたい。





公明党
岩城 桂子
いわき けいこ

障がい者の就労支援について

誰もが読み書きに困らない社会を



問 障がい者の合理的配慮に向けた町の事業は。

答 福祉課長 あいさぽーと運動を推進し全職員がサポーター研修を受けている。

問 障がい者の就労支援センターの現状は。

答 福祉課長 就労相談事業として継続支援やハローワークと連携をしている。

問 障がい者が農業の担い手となる農福連携の取組みはどうか。

答 福祉課長 当町でも2軒の農家で就労中。更に活躍の場面を創出していく。

問 テレワークでの本人や家族の支援はどうか。

答 福祉課長 障がい者の特性に応じた在宅勤務就労等を今後支援していきたい。

代読・代筆支援を

問 視覚障がい者や高齢者の代読・代筆の情報サービスはどうか。

答 福祉課長 合理的配慮の上で職員が窓口業務を行い、公的ヘルパー派遣やガイドヘルプも行っている。

問 支援員養成講座の開催はどうか。

答 福祉課長 朗読ボランティア養成講座を開催。

問 災害時に障がい者や手

話通訳者等に災害時支援バンドナの配布はどうか。

答 福祉課長 防災倉庫の備蓄品として保管。ヘルプカードを配布しているが今後検討していく。

安全な歩道整備を

問 歩道のバリアフリー対策はどうか。

答 道路交通課長 今後段差解消などに努めていく。

問 幹線7号線から竹間沢26号線の歩道整備は。

答 道路交通課長 現場を見て早急に整備していく。

その他の質問

①カラーユニバーサルデザイン
の取組み②町の環境美化について



助け合い、支え合い、ファミリーサポート

安心安全を最優先に制度・運用の改定を



三芳みらい
菊地 浩二
きくち こうじ

子育て支援事業の一つにファミリー・サポート・センター事業がある。これは保育所などの送り迎えをお願いしたいなど援助を受けたい依頼会員と子育ての経験を生かし、空いている時間に援助を行いたい提供会員とを結びつける事業だ。三芳町では平成19年度から始まり、開設当時とは異なる社会的情勢や多様化したニーズに対応するためにも制度の見直しが必要だ。

問 子供を預かるというのはとても重い責任がある。提供会員の講習会受講率は。

答 こども支援課長 約3割となっている。

問 実質的に活動している提供会員数は。

答 こども支援課長 現在40名の方が活動している。

問 活動報酬額の根拠は。

答 こども支援課長 開設当時に近隣の情勢などを参考に設定した。

問 改定に向けての検討は。

答 会員の意見を充分に聞きながら、改定に向けて進めていきたい。

問 提供会員が自家用車で依頼会員のお子さんを送迎することは道路運送法との整合性は保たれるのか。

答 こども支援課長 今後進めるなかで大きな問題だ。両会員にとって良いやり方になるよう考えていく。

問 活動予約の取消しの成立要件は。

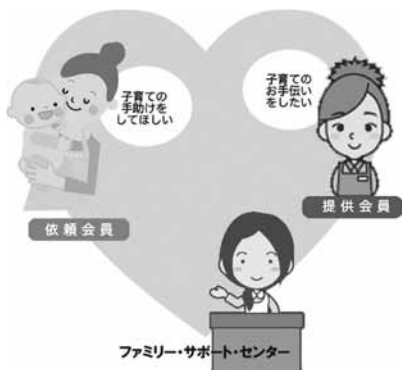
答 こども支援課長 会員同士が直接連絡し、了承した場合に取消しとなる。

問 提供会員から取消しする場合はどうか。

答 こども支援課長 現在規定はない。改訂のなかでしっかり決めていきたい。

問 不測の事態のための対応マニュアルの策定は。

答 こども支援課長 様々な状況が考えられるので、対応マニュアルも改訂のなかで作っていきたい。





日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み

第2保育所民営化ガイドラインの重さ 長期人口ビジョンの政策・実行こそが町の要



問 町は、町立第2保育所の民営化に当たり指針となるガイドラインを作ったが、保育所事業者選定にあたっては進捗状況等を保護者や町民に報告していくのか。

答 **こども支援課長** 決定する前に保護者・町民を対象に公開プレゼンや説明会を予定し、丁寧に進めていく。

問 保護者アンケートにも多かった第2保育所の保育の継承についてはどうか。

答 **こども支援課長** ガイドラインにも事業者宛ての公募要項にも記載している。

問 応募法人の保育内容が選定の実施基準の一定の水準を満たさない場合は、現在のままの公設公営を継続していくという文言が保護者の希望であり、町の姿勢につながると思うがどうか。

答 **こども支援課長** 選定基準についてはガイドラインの中で明記している。

問 民営化により創出される財源年間約1億円は、子育て支援に使っていくべきだと思うが。

答 **町長** 様々な分野で改革を行なっており、これも

その一環。担当課と相談して予算組みしていきたい。

問 保育所の土地・建物はどう扱っていくのか。

答 **こども支援課長** 土地は無償貸与。建物は無償譲渡と重要政策会議で決めた。

問 第2保育所は平成25年に骨組みだけを残して耐震工事をし、費用は2億3000万円だった。今後13年間、町の財政から毎年1700万円の返済が続く。民営化と決めた大きな理由が財政難だったのに対し、建物の無償譲渡は矛盾していないか。

答 **町長** 円滑な保育所運営を考え、無償譲渡とそうでない場合と試算し決定した。資料で説明していきたい。

その他の質問

町の人口ビジョンについて



平成25年に改築された町立第2保育所



日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

発達障害について町の取組みは 発達障害の子供たちに更なる支援を



問 発達障害について町民からの相談・支援体制は。

答 **福祉課長** 保健衛生士・社会福祉士・精神保健福祉士などが相談にあたっている。就労については福祉課、就労支援センターと共に支援を行っている。

問 本町における発達障害のある児童・生徒の割合は。

答 **学校教育課長** 約6.5%。

問 通級指導教室・特別支援学級の今後の設置計画は。

答 **学校教育課長** 今後のニーズ、入級の見込みを見ながら検討したい。

問 保護者・教員等からの要望は。

答 **学校教育課長** 声は聞いている。今後の動向を見ながら検討したい。

問 図書館の支援学級への取組みは。

答 **図書館長** 全クラスに出向きブックトーク事業を行っている。学校司書、町立図書館司書が司書連絡会を開き、支援学級の情報も取得している。

問 学校司書の時給は。

答 **学校教育課長** 890円。資格を持った専門職としては低くないか。

答 **総務課長** 10月の最低

賃金の値上げの際に若干上げたい。

三芳スマートICフル化で交通安全は

問 ICフル化開通後も考慮しての交通安全対策なのか。

答 **総合調整幹** 供用開始後も交通状況の把握に努め安全性の確保に取組んでいきたい。

問 交通安全対策が、中期・長期対策ではICフル化開通後だが、本来開通前に完了させるべきでは。

答 **総合調整幹** 用地買収等、予算的なものがあるので短期・中期・長期と整理している。中期・長期は状況を踏まえて行っていく。





三芳みらい
井田和宏
い だ かず ひろ

三芳町の特長を活かした農業施策について 農業の多面的機能の更なる充実を



- 問** 町内の農地の現状は。
- 答** 観光産業課長 遊休農地が若干増加している。
- 問** 経営に対する意向は。
- 答** 観光産業課長 現状維持と考えている農家が多い。
- 問** 農業後継者の推移は。
- 答** 観光産業課長 やや減少傾向にある。
- 問** 中長期的な視点で町の農業を見た場合の課題は。
- 答** 観光産業課長 高齢化による担い手の確保、遊休農地増加による農地の集約等が課題となる。
- 問** 都市農業振興基本法が制定され、埼玉県では埼玉県都市農業振興計画を策定したが町の見解は。
- 答** 観光産業課長 農地の多面的機能を発揮した都市農業の優位性を施策に盛り込んでいくことが重要と考えている。
- 問** 「かみとめマルシェ」開催時の町の役割は。
- 答** 観光産業課長 基本的に自立運営をお願いしているが、企画立案の相談、情報発信等を行った。
- 問** 農業センターの鍵管理や、空き状況が共有できる仕組みづくりは。
- 答** 観光産業課長 インターネットの活用等について



景観作物として植えられたヒマワリ

- て区と協議していききたい。
- 問** 駐車場の確保は。
- 答** 観光産業課長 イベント時には足りない状況にあり、担当課としても重要な課題と捉えている。
- 問** 農業センターと旧島田住宅の間の垣根の撤去は。
- 答** 観光産業課長 管理上の問題もあり現状は難しい。
- 問** 都市農業振興に向け県との連携は。
- 答** 観光産業課長 県との連携を深め補助金等の活用を積極的に図っていきたい。
- 問** 都市農業の振興に関する計画の策定は。
- 答** 観光産業課長 上位計画を参考に、町も策定支援を受けながら考えていきたい。



日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ

児童・生徒に負担増となる新学習指導要領 国民健康保険税は、現状維持とすべきでは

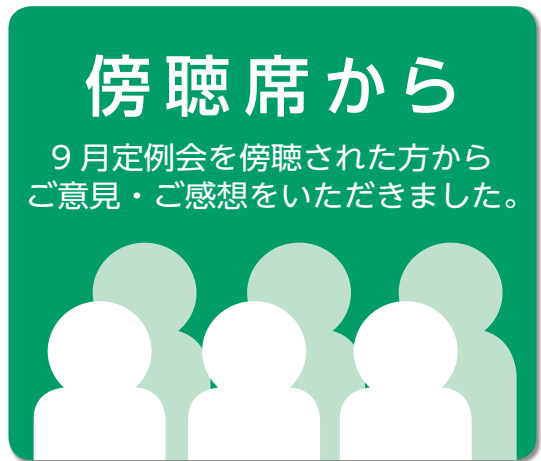


- 小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から全面实施となる「新学習指導要領」が3月に告示された。改定では指導法、評価法、学習運営・管理まで詳細にわたっており、今までのような学校の裁量は認められない方向で、大変危惧する。小学3年生から英語活動が導入され、小学5年生から教科となる。子供の負担を増大させ、大多数の子供が取り残されるのではと心配。また、今改定では「愛国心」の押し付けもある。
- 問** 戦後最悪の学習指導要領との声もあるがどう思うか。
- 答** 町長 そうい認識ではない。
- 問** 子供が日本をどう思うかは、成長形成で育つもの。上から押し付けることではない。子供の内心の自由への侵害が強まるのではと心配する。日本を愛すると思えるには、日本国憲法の実践こそ必要では。
- 答** 学校教育課長 教育は、人権が保障され、平和を尊重する社会の構築を目的として進めたい。
- 問** 道徳の教科化が始まる。小学1・2年生では、う



- そをついたり、ごまかしをしたりしない」と教える。子供は失敗したり、けんかしたり、時にはうそをついて叱られたりしながら成長していくもの。押し付けるものではない。今、子供に必要なのは30人学級では。
- 答** 教育長 教育長会議があるので、そこで話してみたい。
- 国民健康保険税の値上げはやめるべき**
- 問** 高い国民健康保険税の値上げはやめるべきだ。値上げをするか否かを決める国民健康保険運営協議会は、いつ答申する予定か。
- 答** 住民課長 11月の初旬になると思う。

傍聴席から／表紙写真のご紹介



 家族、子供たちをととても大事にしている三芳町なんだなあと思えました。いじめから子供を守るネットワークを作るのと、いのちのメッセージはやってほしいですね。(富士見市R・Tさん)

 子どもを持つ親として大変参考になりました。お疲れ様でした。(富士見市女性)

 質問に対して前向きに検討しているとの回答が多いが、もう少し具体的(時期、方法、状況等)なものを知りたかった。もちろん予算の問題もあるので、難しい面もあるのかなと思いますが。(藤久保S・Tさん)

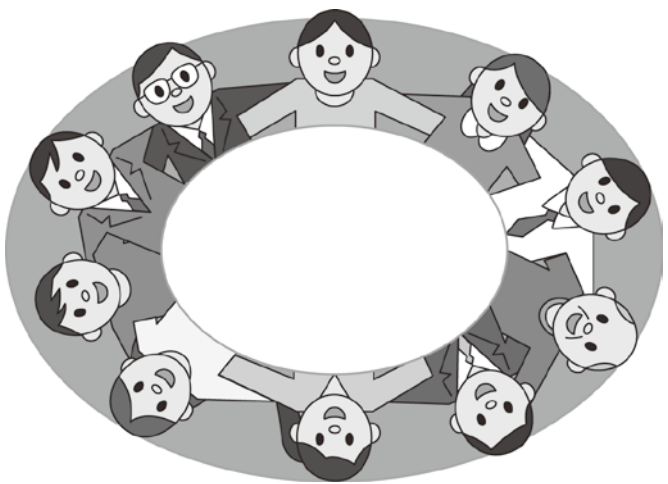
8・9月定例会の傍聴者数

		日程	人数
本会議		8月28日	1
		8月29日	13
		8月31日	28
		9月4日	37
		9月15日	4
委員会	8月28日	(広報)	0
	9月1日	(政策)	0
	9月4日	(総務)	0
	9月5日	(全協)	0
	9月5日	(厚生)	0
	9月7日	(決算)	0
	9月8日	(決算)	0
	9月11日	(決算)	0
	9月14日	(議運)	0
合計			83

 夜間会議は仕事が終わってからの傍聴できるので良いと思う。(藤久保M・Hさん)

 答弁席まで歩かずに、効率的に質問や答弁が行われているのは国会も見習うべきですね。ただ、淡々と質問や答弁が行われているという印象もあります。もっと緊張もあってもいいかな。(藤久保男性)

 議会開催日の初日にいただいた一般質問通知書には質問順序、質問者及び質問要旨、答弁者まで丁寧で細かく記載されており非常に良いと思いますが、欲を言えば質問者の日付またはだいたいの目安でも良いので開始時間も記載し



ていただければ更に良いと思いました。(藤久保H・Mさん)



表紙写真のご紹介

「第58回町民体育祭」が10月8日に、三芳町運動公園グラウンドにて開催されました。各行政区より、スポーツを通しての健康・体力づくりを行うことを目的として、子どもから高齢者まで多くの方が参加されました。表紙の写真は、選手宣誓を行う児童の1コマです。

報告

第1回政策サポーター会議が開催されました



三芳町議会 政策サポーター会議構成員

三芳町議会
政策サポーター会議アドバイザー
淑徳大学准教授
堀木 美告 氏

三芳町議会
政策アドバイザー
法政大学教授
廣瀬 克哉 氏

政策サポーター（8名）

笠原 高 治 氏
勝山 均 氏
古寺 貞 之 氏
高田 喜 昭 氏
島橋 和 男 氏
早川 光 男 氏
望月 正 一 氏
山田 久美子 氏

第1回政策サポーター会議が10月16日（月）に開催されました。当日は、それぞれの自己紹介を行った後、これまでの経過や今後の進め方について説明しました。また、議会側から町が行っている観光施策について説明し、サポーターの皆様には、観光に対する考え方や町の観光施策の課題を

述べていただきました。サポーター会議アドバイザーの淑徳大学堀木先生からは、先進地事例の紹介や今後の進め方について助言をいただきました。第2回から「地域の長を活かした観光資源の整備」についての提言に向けて本格的な協議に入っていきます。

報告

総務常任委員会

【所管事務調査実施】

総務常任委員会では、7月26日・10月2日の2日間で「公共施設マネジメント」に係る町内施設の現状を把握するため、「上富第1区第2集会所・北永井第3区第2集会所・藤久保第5区集会所・藤久保第4区第2集会所・藤久保第4区第4集会所」の5か所について、現状を視察いたしました。

今回調査しました3カ所の集会所については、昭和56年から平成4年の間に建設されたもので、内外装ともに一部の劣化を確認いたしました。

集会所は、地域コミュニティの振興はもとより、地域防災の重要な施設でもあることから、

これらの維持管理等について、十分検討されると共に、地域事情を踏まえ、町で検討している公共施設マネジメントの中で、慎重な検討が必要と思われます。

今後、更に他の集会所の視察を行い、集会所のあり方について継続的に検討を重ねてまいります。



報告

厚生文教常任委員会

【所管事務調査実施】

10月4日（水）厚生文教常任委員会でも所管事務調査を実施しました。

視察内容は小中学校のトイレの洋式化についてです。まず、町内の状況を確認するため竹間沢小学校及び藤久保中学校を視察し、和式・洋式トイレの設置状況や改修された多目的トイレなどを確認しました。三芳町の小中学校トイレの洋式化率は小学校26%、中学校25.3%となっています。

その後、洋式化率が埼玉県1位で小学校91.3%、中学校92.3%

の志木市を訪れ、洋式化の経緯や現状・整備方針等を説明していただきました。今後の委員会での協議に大変参考になるものでした。



ご長寿を祝う

敬老会が開催されました

平成 29 年度三芳町敬老会が 9 月 18 日（月）にコピスみよしにおいて開催されました。本年度 75 歳以上該当者は、4,665 名、金婚夫婦該当は、44 組でありました。その中の 3 組のご夫婦にインタビューさせていただきました。

質問内容

- ①金婚式を迎えられた秘訣はありますか
- ②お二人で楽しまれていることはありますか
- ③それぞれご趣味はありますか
- ④町の事業で気に入っているものや通っているものはありますか
- ⑤議会にどのような印象をお持ちですか、また望むことはありますか

上島三介様・良子様

- ①お互いにやりたいことがあったので、干渉せずに自由にやってきました。お互いに違うことをやっていたので新鮮でいられたと思います。
- ②旅行はよく行きます。ヨーロッパ等はずいぶん行きましました。
- ③三介様…ずっと体協をやっていました。町の事業にも参加してきました。
- 良子様…書道や日本舞踊は長くやっています。子ども食堂や社協の活動の手伝いもしています。
- ④学校と地域を中心とした事業があればよいと思います。
- ⑤議会ですっかり公立中学校の状況等を把握し、教育に対して議員の皆さんがもっと勉強してほしいと思います。勉強不足が目立ちます。



福安聡視様・征子様

- ①忍耐と寄り添っていくことだと思います。
- ②陶芸
- ③聡視様…好きな仕事をやってきたこと。好きなことが一番
- 征子様…多くの趣味があります。
- ④高齢者向けの事業が多くなってきたと思います。更に高齢者向けの事業に取り組んでほしいと思います。
- ⑤議会として目に見えるもの、これだという活動をしてほしいと思います。若い人が増えてきたので今後に期待したいです。



小幡範男様・とし子様

- ①長いようで短く、短いようで長かった。お互いに思いやりの気持ちがあったからだと思います。主人が優しい人だから。
- ②新緑のころや紅葉のころにドライブに行きます。
- ③範男様…家庭菜園、種を蒔くための道具など工夫して道具まで作ります。
- とし子様…音楽鑑賞（特にジャズ）
- ④みよしまつりや町民体育祭を楽しみにしています。
- ⑤社会福祉向上のため、町民とのパイプ役で苦労していることはわかりません。



一部事務組合とは？



入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合は、ふじみ野市、富士見市、三芳町が共同して設置した一部事務組合です。消防組合では消防活動、救助活動及び救急活動を所管し、消防本部、2つの消防署（西消防署・東消防署）、そして、3つの分署（富士見分署、ふじみ野分署、三芳分署）を配置し、消防車両53台、消防職員数281人体制で消防活動等に対応しています。衛生組合は、しののめの里（火葬場斎場）やし尿処理業務を所管しています。なお平成30年度より新しいし尿処理施設の稼働を機に、施設コストの削減及び事務の効率化を図る為、両組合は統合し、入間東部地区事務組合となります。

三芳町選出議員

入間東部地区消防組合

井田議員 細田議員 細谷議員
小松議員 吉村議員

入間東部地区衛生組合

山口議員(組合議長) 鈴木議員
安澤議員 岩城議員 本名議員

平成29年入間東部地区 消防組合議会 第2回定例会が 開催されました

入間東部地区消防組合議会第2回定例会が9月25日（月）に開催されました。提出された議案は4件であり、すべて可決されました。

主な議案

第13号議案 平成28年度入間東部地区消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額 32億4616万6821円
歳出総額 31億9571万3339円
差引額 5045万3482円

予算執行率は歳入で99.8%（前年度99.7%）、歳出で98.3%（前年度96.0%）であった。決算額を前年度と比較すると歳入において73,703,018円、歳出で1,316,355円減少した。

歳入のうち最も多く占めるのが、構成市町からの分担金及び負担金であり、歳入総額に対する割合は92.3%であった。歳出の大部分は消防費であり、その84.6%は、義務的経費である人件費が占めている。

平成29年入間東部地区 衛生組合議会 第2回定例会が 開催されました

入間東部地区衛生組合議会第2回定例会が9月27日（水）に開催されました。提出された議案は1件であり、すべて可決されました。

主な議案

第7号議案 平成28年度入間東部地区衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額 9億7286万5911円
歳出総額 7億6561万5642円
差引額 2億7250万 269円

入間東部地区衛生組合では、し尿処理施設の運営・斎場運営（しののめの里）及び火葬場施設の運営を担っています。

しののめの里では近年、火葬件数が増えている状況ですが、式場利用件数は減っています。この要因は、家族葬が増えていることが窺えます。

	火葬(管内)	火葬(管外)	式場
平成26年度	2118件	687件	731件
平成27年度	2207件	719件	709件
平成28年度	2221件	754件	600件



マレーシアから
 親善訪問団が来日

9月5日 火

9月5日にマレーシアからアジア・パシフィック・スマート・スクールの10名の生徒と先生が国際親善・交流のため三芳町役場にいらしていました。その際、本会議場を見学した生徒たちは議長席に座るなどして議会の雰囲気を楽しんでいました。親善訪問団はホームステイや学校訪問、川越観光などを通じて交流を深め、帰国の途につきました。



<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



次の議会定例会は

11月28日 (火)



開会の予定です



皆様の傍聴をお待ちしております

▶ 議会の動画を配信しています。



議員の一般質問等の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、下記URLにアクセスしてください。

三芳町議会 中継ページ

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/gikai-chukei.html>

編集後記

セミの声がまだ賑やかな残暑の中での9月定例議会でした。夜間議会もあり多くの皆様に傍聴に来ていただきました。それでも議会傍聴に足を運ぶのもなかなか大変なことだと思います。そのような皆様に議会の様子をお伝えするのがこの議会だよりの役割です。しかしまだまだ多くの皆様に読んでいただくには改善しなくてはならないところが多々あると認識しています。より多くの皆様に親しまれる議会だよりになるよう、少しずつではありますが取組んでいるところです。議会傍聴時のアンケートで議会だよりに対するご意見もいただいています。お気づきの点やご意見がありましたら議会事務局にお寄せいただければと思います。今後、議会の報告だけではなく、より広い情報の発信、そして皆様からの声を受け取る双方の議会だよりにしていきたいと思えます。

- | | | | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|
| 委員 井田和宏 | 委員 菊地 | 委員 増田 | 委員 岩城 | 委員 鈴木 | 委員 久保 | 副委員長 安本 | 副委員長 澤名 | 本名 豊洋 |
| 委員 二子 | 委員 美子 | 委員 宏 | 委員 健 | 委員 桂 | 委員 磨 | 委員 浩 | 委員 田 | 委員 井 |

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトでご覧いただけます。